

## 様式第 8

## 平成 2 6 年度循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
香川県高松市	高松市	平成20年度～平成24年度	平成20年度～平成24年度 (一部平成25年度～繰越)

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成18年度)	目標 (割合※1) (平成25年度) A	実績 (割合※1) (平成25年度) B	実績B /目標A	
排出量	事業系 総排出量	64,138 t	58,822 t (-8.3%)	56,781 t (-11.5%)	96.5%
	1事業所当たりの排出量	3.3 t	3.0 t (-9.1%)	2.3 t (-30.3%)	76.7%
	家庭系 総排出量	106,602 t	104,646 t (-1.8%)	93,671 t (-12.1%)	89.5%
	1人当たりの排出量	255 kg/人	253 kg/人 (-0.8%)	223 kg/人 (-12.5%)	88.1%
合 計 事業系家庭系総排出量合計	170,740 t	163,468 t (-4.3%)	150,452 t (-11.9%)	92.0%	
再生利用量	直接資源化量	50 t (0.0%)	45 t (0.0%)	71 t (0.0%)	157.8%
	総資源化量	37,902 t (22.2%)	42,045 t (25.7%)	31,650 t (21.0%)	75.3%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	24,141 MWh	25,056 MWh	26,053 MWh	
減量化量	中間処理による減量化量	113,827 t (66.7%)	103,890 t (63.6%)	104,774 t (69.7%)	100.9%
最終処分量	埋立最終処分量	19,011 t (11.1%)	17,533 t (10.7%)	14,029 t (9.3%)	80.0%

※ 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

(生活排水処理) ※浄化槽設置整備事業のH25年度への繰越分を含まない平成24年度末時点

指 標	現 状 (平成17年度)	目 標 (平成24年度) A	実 績 (平成24年度) B	実績B /目標A
総人口	422,410 人	415,640 人	427,572 人	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	227,500 人	267,057 人	102.0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	53.9 %	62.5 %	99.2%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	331 人	290 人	87.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0.1 %	0.1 %	100.0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	82,962 人	89,239 人	105.0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	19.6 %	20.9 %	102.5%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	111,617 人	70,986 人	103.5%

※ 集落排水施設等には、農業集落排水施設等、コミュニティ・プラントが含まれる。

(生活排水処理(参考)) ※浄化槽設置整備事業のH25年度への繰越完了分を考慮したもの

指 標	現 状 (平成17年度)	目 標 (平成24年度) A	実 績 (平成24年度 繰越完了時点) B	実績B /目標A
総人口	422,410 人	415,640 人	428,898 人	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	227,500 人	267,057 人	102.0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	53.9 %	62.3 %	98.9%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	331 人	290 人	87.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0.1 %	0.1 %	100.0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	82,962 人	89,967 人	105.8%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	19.6 %	21.0 %	102.9%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	111,617 人	71,584 人	104.3%

※ 集落排水施設等には、農業集落排水施設等、コミュニティ・プラントが含まれる。

※ 総人口は、繰越完了時点(平成25年7月末)とした。

※ 合併処理浄化槽等の処理人口は、繰越分の人口を加算した。

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	家庭系ごみ有料化に伴う減量効果の維持	高松市	家庭系ごみ有料化制度の減量効果維持方策を検討する。	平成20年度から平成24年度まで	一般廃棄物処理基本計画のごみ減量化目標を見直すとともに、減量ハンドブックを作成するなど、広く市民へ周知・啓発を行った。
	12	啓発事業	高松市	ごみ減量化・資源化について市民の意識啓発に努める。	平成20年度から平成24年度まで	広報紙、パンフレットやホームページ等を活用し、ごみ減量・資源化に関する情報提供を行った。
	13	環境教育の充実	高松市	循環型社会の学校・生涯学習における環境教育の充実を図る。	平成20年度から平成24年度まで	環境講座や出前講座を実施し、環境教育の充実を図った。  【環境講座等参加人数】 (単位：人/年) H20 8,361 H23 4,578 H21 6,444 H24 6,401 H22 6,056 H25 5,125
	14	生ごみ処理機購入補助制度等	高松市	生ごみ処理機購入補助制度等の推進を図る。	平成20年度から平成24年度まで	家庭から排出される生ごみを減量するため、生ごみ処理機等購入費の一部補助を行った。  【補助件数の推移】 H20：745件 H23：353件 H21：573件 H24：307件 H22：432件 H25：241件

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
	15	市民、事業者、行政の役割分担と協働	高松市	市民との役割分担と協働による発生抑制、循環利用を促進する。	平成20年度から平成24年度まで	事業者、市民団体及び市の3者で「レジ袋等の削減に関する協定」を締結し、協働してレジ袋の使用量削減に取り組んでいる。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協定締結事業者：12事業者 (39店舗)</li> <li>・ " 市民団体：6団体 (※平成26年4月現在)</li> </ul>
	16	事業系ごみの減量	高松市	ごみ処理手数料の適正化等により事業系ごみの減量化を図る。	平成20年度から平成24年度まで	ごみ処理手数料を平成21年7月と平成24年4月に改正し、手数料の適正化を行い、事業系ごみの減量化を図った。
	17	「地球にやさしいオフィス・店」登録制度の推進	高松市	「地球にやさしいオフィス・店」登録による自主的なごみの減量化を図る。	平成20年度から平成24年度まで	「地球にやさしいオフィス・店」登録制度により、事業者が自主的にごみ減量・資源化に取り組んだ。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登録事業者数：129事業所</li> <li>・ 登録店舗数：133店舗 (※平成26年4月現在)</li> </ul>
	18	民間ルートの活用	高松市	民間の既存再使用ルートの推進を図り、再使用を促進する。	平成20年度から平成24年度まで	施設に搬入された粗大ごみのうち、使用可能なものを修理・清掃して、無料で譲渡し、再使用の促進を図った。

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
	19	フリーマーケット・イベント会場および情報の提供	高松市	再使用・再利用促進のため、フリーマーケット等の各種情報提供を行う。	平成20年度から平成23年度まで	不用品交換情報ボードや広報誌を活用した不用品交換に関する情報の収集・提供を行い、再使用の促進を図った。
	20	分別収集等推進活動の推進	高松市	分別収集活動	平成20年度から平成24年度まで	リサイクル推進員や地域コミュニティ協議会等の協力を得て、市民と行政の協働による地域ぐるみの主体的な分別収集活動により、資源化の推進を図った。
	21	草木類のチップ化等	高松市	草木類のチップ化等を検討し、減量化・資源化を図る。	平成20年度から平成24年度まで	家庭等から排出される枝葉、剪定枝などを堆肥化し、ごみの減量化・資源化を図りました。 【平成24年度実績】 ・受入数量 軽トラック62車 ・堆肥販売量 4,739kg
	22	生活排水対策	高松市	生活排水対策として合併処理浄化槽への転換を進める。	平成20年度から平成24年度まで (一部平成25年度に繰越)	5年間で、259基の転換に対して設置補助を行うとともに、平成24年度からは撤去費補助(15基)も実施し、合併処理浄化槽への転換を進めた。
処理施設の整備に関するもの	1	リサイクル施設	高松市	廃棄物原材料化施設の整備 20 t/日	平成22年度	南部クリーンセンターの熔融固化物をコンクリート骨材、舗装材等に利用するため、加工施設の整備を計画していたが、売却の目途が立たず、費用対効果が得られないことから、整備を見送りとした。

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
	2	最終処分場	高松市	一般廃棄物最終処分場の整備 容積：335,000m <sup>3</sup>	平成22年度から 平成24年度まで	一般廃棄物陶最終処分場第3処分地整備工事（1期分）を、平成22年12月に着工し、平成24年8月に完了した。 埋立容量 全体:335,000m <sup>3</sup> 1期:174,000m <sup>3</sup> 平成25年度から供用開始した。
	3	合併処理浄化槽整備	高松市	生活排水対策として、合併処理浄化槽設置整備を進める。	平成20年度から 平成24年度まで (一部平成25年度に繰越)	5年間で、4,316基（うち転換259基）の合併処理浄化槽への設置補助により、設置整備の促進を図った。
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	廃棄物原材料化施設整備事業に係る実施設計	高松市	実施設計	平成21年度	廃棄物原材料化施設の整備工事を見送りとしたことから、未実施である。
	32	最終処分場整備事業に係る実施設計	高松市	実施設計	平成20年度から 平成21年度まで	一般廃棄物陶最終処分場第3処分地整備工事の実実施設計を行った。
	33	最終処分場整備事業に係る生活環境影響調査	高松市	基本設計	平成20年度	一般廃棄物陶最終処分場第3処分地整備工事の生活環境影響調査及び基本設計を行った。

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
長寿命化計画策定に係る計画支援に関するもの	41	一般廃棄物処理施設に係る長寿命化計画策定事業	高松市	長寿命化計画の策定	平成22年度	西部クリーンセンター長寿命化計画（案）を作成した。
その他	51	危機管理体制	高松市	災害廃棄物処理計画の策定と広域的相互応援の協力体制の整備	平成20年度から平成24年度まで	高松市地域防災計画で想定されている地震、水害で発生する災害廃棄物の円滑な処理を行うため、災害時廃棄物処理計画を策定した。
	52	医療系一般廃棄物の処理	高松市	医療系一般廃棄物について医療機関と連携し処理体制を確立する。	平成20年度から平成24年度まで	一般家庭における治療行為に伴う医療系一般廃棄物の適正処理を図るため、国の指導等に基づき、医療機関と連携し、適正処理に努めた。
	53	適正処理困難物の処理	高松市	事業者による引き取りシステムの形成を関係業界に要請する。	平成20年度から平成24年度まで	適正処理困難物については、事業者による引き取りシステムの形成を関係業界に要請した。
	54	不法投棄対策	高松市	警察及び住民との連携と不法投棄パトロール等監視体制の強化	平成20年度から平成24年度まで	監視カメラによる監視体制を強化するとともに、警察及び住民等関係機関と連携し、不法投棄のパトロールを実施した。

### 3 目標の達成状況に関する評価

#### 【ごみ処理】

ごみ処理における各指標ごとの目標達成状況に関する評価は次のとおりです。

#### (1) 排出量

事業系及び家庭系とも目標を達成しており、事業系家庭系総排出量合計では、目標である163,468tに対して、平成25年度実績では、目標を上回る11.9%減の150,452tとなりました。これは、事業系においては、平成21年7月と平成24年4月にごみ処理手数料の改定を行い、ごみの減量化を図ったことや、家庭系では、ごみ減量ハンドブック等を作成し、広く市民に周知するとともに、学校や地域において環境教育の充実を図るなど、様々なごみ減量化の施策を実施したことにより、ごみ排出量目標を達成できたものと考えられます。

#### (2) 再生利用量

総資源化量については、目標としていた42,045tに対して、平成25年度実績は、31,650tとなり、目標を達成することができませんでした。これは、資源循環型社会の構築を目指し、ごみの資源化施策を行ってきましたが、ごみ排出量全体の減少に加え、ショッピングセンター等での資源ごみの店頭回収が増加してきたことや、新聞紙・雑誌等の販売部数の減少などにより、資源化量が減少したものと考えられます。

#### (3) 熱回収量

年間発電電力量は、目標としていた25,056MWhに対して、平成25年度実績では、26,053MWhとなり、目標を達成いたしました。これは、ごみ処理施設の効率的な運転管理を行ったことによるものと考えられます。引き続き、ごみ処理施設の効率的な運転管理を行うことで、熱回収を促進し、循環型社会と低炭素社会を統合的に実現できるよう努めます。

#### (4) 減量化量

中間処理における減量化量については、目標としていた103,890tに対して、平成25年度実績は、104,774tとなり、目標に到達することができませんでした。これは、ごみ排出量全体の減少に加え、資源ごみの店頭回収の増加や新聞紙・雑誌等の販売部数の減少などのより資源ごみ回収量が減少したことによるものと考えられます。

#### (5) 最終処分量

埋立されるごみの量は、目標としていた17,533tに対して、平成25年度実績は、14,029tとなり、目標を達成いたしました。これは、ごみの減量化の取組みの効果と、焼却灰や溶融スラグの資源化を推進したことによるものと考えられます。

#### 【生活排水処理】

生活排水処理では、汚水処理人口普及率の目標値83.5%に対し、繰越分を含まない平成24年度末時点の実績値が83.4%であったことから、当初計画は、ほぼ達成したものと考えます。なお、各指標ごとの目標達成状況に関する評価は次のとおりです(実績値は全て繰越分を含まない平成24年度末時点)。

#### ・ 公共下水道

目標値(261,712人)に比べ、実績値(267,057人)は、5,345人増となったものの、汚水処理人口普及率では、目標値(63.0%)に比べ、実績値(62.5%)が0.5%減となりました。これは、総人口が目標値(415,640人)に比べ、実績値(427,572人)が11,932人上回ったことが、未達成の大きな要因と考えられます。

#### ・ 集落排水施設等

新たな整備計画が無いことから、人口は横ばいになると想定していましたが、目標値(331人)に比べ、実績値(290人)は41人減となりました。当該処理地域は過疎地域を抱えており、人口流出が要因と考えられます。汚水処理人口普及率は、目標値、実績値とも0.1%で同じでした。

#### ・ 合併処理浄化槽

目標値(84,997人)に比べ、実績値(88,239人)は3,242人増であり、汚水処理人口普及率も、目標値(20.4%)に比べ、実績値(20.9%)が、0.5%増となり、同処理人口、同処理人口普及率ともに達成できました。



(都道府県知事の所見)

再生利用量、減量化量が目標を達成していないものの、総体としては概ね目標達成できていると評価される。  
高松市では既に第2次地域計画（平成25年度～平成29年度）を策定しており、第2次地域計画において目標値を達成できるよう、引き続き循環型社会の形成推進に努められたい。